

海外派遣留学生
留学報告書

学部学科	文化社会学部北欧学科		学年:	1年
留学先:	国:	デンマーク	大学/ 機関:	BOSEI フォルケホイスコーレ
期間:	20 24年 2月 17日 ~ 20 24年 3月 18日			
	<input checked="" type="radio"/> 短期・中期・長期 ※○で囲んでください。		計 1ヶ月	

[1] 参加した語学コースの時間数/科目名(受講科目・複数可)

・授業時間数:13時間

・科目名: Bushcraft, Denish Culture, Archery, Choir, Cosplay, Eikaiwa, Esport, Serious 'Hygge'

時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~10:30	○	○	○	○	Free	Free	Free
10:45~12:00	○	○	○	○	○	Free	Free
14:00~15:30	○	○	○	○	Free	Free	Free

[2] 授業内容について教えてください。

(クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等)

人数は授業によって異なるが、10人~25人ほどだった。国籍は8割ほどがデンマーク人で、ほかには中国人の留学生数名とドイツ人、アメリカ人、イタリア人などがいた。先生はデンマーク人だったが一部の先生は日本語が話せるため、授業内での説明を日本語でもしてくれることがあった。テキストのような教材を使用することはなく、一部の授業でプリントが配られること以外は身一つで授業を受けることができた。

[3] 課外活動・研修旅行・余暇の過ごし方について教えてください。

課外活動としては、週に数回のクラブ活動があり、その時の気分で参加を決めることができた。留学中に二回コペンハーゲントリップがあり、一回目は前半案内をしてもらった後自由行動になった。二回目はフォトチャレンジとして、決められたスポットをグループで回って写真を撮りつつ観光をすることができた。週末は基本的に授業がないため、近くの町に行って買い物をしたり、コペンハーゲンに個人で行くこともできた。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。(図書館、学生会館、スポーツ施設等)

海外派遣留学生

留学報告書

私はガーデンルームをよく利用していた。ボードゲームやカードゲームがあり、談話室のような役割をしていて、その場にいる学生と話をしたりビリヤードをしたりしてすごした。また、寮のTVルームでほかの学生と一緒にアニメを見る時間も多かった。

[5] 宿舎(寮やホームステイ)での生活について教えてください。

部屋: 1部屋 2 人で使用

様子: 私たちが使った棟は今はメインで使われていない棟で、東海大学の女子学生と週末に来るゲストのみの利用だった。部屋にはベッド2つとクローゼット、机、椅子がそれぞれ1つずつあり、窓は駐車場に面していた。基本的に8人で一棟だったため静かで、清潔な状態が保たれていた。シャワーは6個あり、プールシャワーのようにカーテンを閉めて使う形だった。ドライヤーはなく、タオル掛けが一つ置いてあった。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦勞したことを教えてください。

● **楽しかったこと:**

現地の学生とバレーボールをしたのが楽しかった。普段は運動もチーム競技も苦手であり参加しないようにしていたが、仲良くなった現地の学生が誘ってくれたため参加するようになった。経験者も初心者もいたが、全員がバレーボールを楽しんでいて、ミスを責めるような空気が全く無かったため楽しくプレイすることができた。

● **苦勞したこと:**

英語がほとんどできない状態で行ったため、初めのうちはコミュニケーションをとるのに苦勞した。しかし、現地の学生がゆっくり簡単な英語で話してくれることもあり、積極的に会話することができた。英語にも訛りや活舌などによって聞き取りやすさが変わって、人によっては英語を聞き取るのが難しかった。

海外派遣留学生
留学報告書

[7] 留学の成果について教えてください

1) 語学力の向上:

留学を通して特にリスニングが向上したと感じる。普段の生活から授業まですべて英語が聞こえる環境だったため、ある程度のスピードは聞き取れるようになったと思う。また、英語で話すことに少し慣れたため、ゆっくりではあるが自分の言いたいことを単語ではなく文として話すことができるようになった。

2) 専門知識の向上:

日本ではなかなか無い Esport の授業をとっていたため、今までプレイしていたゲームを改めて一からコーチングしてもらうことができた。また、Denish Culture や Serious 'Hygge' の授業ではデンマーク語やデンマークの文化を知ることができた。

3) 自己成長など

現地の学生との交流を通して、自分の意見を言葉にすることの重要性を学んだ。授業内や集会でも現地の学生は手を挙げて自分の意見をはっきりと話すことが多く、大勢の前で話すことに緊張したり上手く言葉にできなかつたりする自分との大きな違いだと感じた。また、仲良くなった学生との交流のために英語の勉強をもっと頑張ろうというモチベーションにもなった。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

渡航前や到着してすぐは緊張してしまうかもしれませんが、現地の学生は優しく、交流を拒んだりすることは一切ありません。どれだけ拙い英語でも理解しようとしてくれるため、積極的に話すことが大事だと思います。現地での生活は日本と違う点が多々ありますが、それも大事な経験になるので、まずはチャレンジしてみるのがいいと思います。日本のお菓子を持っていくと話題の種になるし喜んでもらえるのでたくさん持っていくことをお勧めします。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

項目※詳しく記入して下さい	金額(当時の日本円)
渡航費(旅行会社に支払った経費)	約 42 万円
授業料以外の諸経費(教材費・課外活動・保険料等)	約 1 万 5 千円
私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)	約 1 万 5 千円
現地からの奨学金がある場合	0 円
お土産代や個人的な買い物	約 7 万円
その他()	0 円
留学に関する費用の総額	約 52 万円

海外派遣留学生
留学報告書



海外派遣留学生
留学報告書

